



富山県

石川県

岐阜県

福井県

141郡上八幡城

142苗木城

39岐阜城 143美濃金山城

144大垣城

38岩村城

愛知県



# 38 岩村城

--- 100名城 ---  
2019.9.5



別名：霧ヶ城

日本三大山城（標高721m）の1つであり、壮大な石垣を誇る近世山城。戦国時代に入り武田氏や織田氏が侵攻し幾度となく戦場となった。その頃の話として“女城主”の伝説も残る。

FB - 049

JR中央本線の恵那駅から明和鉄道で山間を縫って岩村駅で下車。駅前は何もありませんが、山の方向に旧城下町の中を20分余程歩くと町の外れに岩村歴史資料館があり、その横側の登城口からさらに20分余登ると岩村城跡です。

城下町を歩いているとき、途中至る所にNHKの朝ドラ「半分青い」ポスターが貼ってあり、もしかしてそのロケ地ではないかと思ひ、確認すべく途中にある観光案内所で聞いてみたら、案の定”ロケ地”でした。（その放映は2018年前期）

城跡を目指して登っていくと、途中いろんな石垣櫓がありますが、突然「六段壁」の石垣が現れ度肝を抜かれます。戦時はこの段に戦士が待ち構え弓矢で身を挺して戦ったそうです。追：お屋のおうどん絶品でした。

登城口から

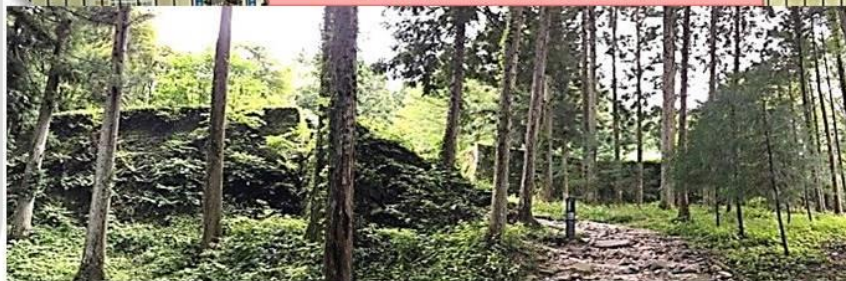
## 一口メモ 日本三大山城

- ・美濃岩村城(岐阜県岩村町)---日本100名城、No.38、標高721m・三大山城で一番標高が高い
- ・大和高取城(奈良県高取町)---日本100名城、No.61、標高584m・FB-038で投稿済
- ・備中松山城(岡山県高梁市)---日本100名城、No.68、標高480m・後に430m築城



岩村駅前観光案内 大看板

岩村散策絵図



G-Mapより



六段壁



五平餅屋さん



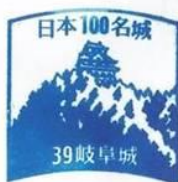
旧城下町通り



# 39 岐阜城

--- 100名城 ---

2019.1.7



別名： 稲庭山城、金華山城、井口城

FB - 045

いよいよ中部東海にやってきました。岐阜6・愛知7・静岡7城あります。  
戦国時代後半のクライマックスとなった、中心と云つていい程の歴史を遺した地です。

岐阜市の金華山(旧名:稲葉山)にある山城(標高329m、高低差308mもある。)で、難攻不落な城として有名です。その金華山は、美濃と尾張の境目の木曾川を越えて、長良川のほとりにあります。古くは稲葉山城と呼ばれ、別名:金華山城、井口城とも呼ばれていました。

2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」でも登場しています。元々「稲葉山城」と呼ばれ、斎藤道三の居城として有名。道三を破り城主となった斎藤義龍の息子 龍興の頃に信長が攻め落とし、岐阜城と改名した。歴史上、落城7回を記録しています。

麓一帯は岐阜公園として綺麗に整備されており、天気がいいのもあって気持ちのいいハイキングでした。でも、登城はロープウェイを利用しました。



岐阜城図(円徳寺蔵)



天下布武の印





# 141 郡上八幡城

--- 続100名城 ---  
2019.9.8



FB - 047



パネル紹介写真

この郡上八幡城へは、美濃太田駅から1.5Hに1本程度(長良鉄道[JRではない])しかないので電車での移動を諦め、一旦帰宅後、車(約1.5H)で行って来ました。天気に恵まれ、九頭竜ダムと県境の山越えで久しぶりのドライブとなり満喫してきました。

郡上八幡城は、戦国末期に郡上一円を領した遠藤盛数によって八幡山に築城。盛数の娘は後に山内一豊の妻となる(“功名が辻”)。遠藤氏は織田信孝に近かったため本能寺後は秀吉に疎まれ城主交代、その後関ヶ原で東軍として八幡城の稲葉氏と戦い、戦後は遠藤氏が城主に返り咲いた。

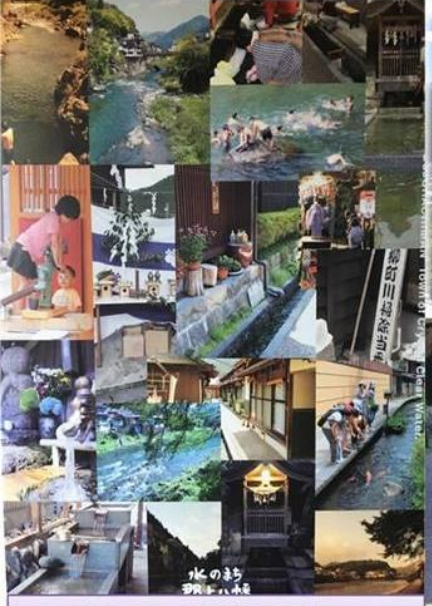
お城は見事な石段が残り、奥には高石垣も見え野面積みである。旧城下町が色濃く残っており、「水のみち」としても観光の目玉として推し進めています。町中も本当にきれいで、子供たちの川遊びに興じているのを見ると、昔を思い出します。



郡上八幡城ジオラマ



カーブ石垣の壁(徳島城にも有るそうです。)



洗い物の為の足場の呼び名



洗い場(用水)

カワド(川)

水のみち・広報ポスター



パネル紹介写真



# 142 苗木城

--- 続100名城 ---

2019.9.5



この苗木城で岐阜の6城(名城2、続4)完了です。ここは大量の巨石と石垣が圧巻の山城跡です。山全体に無数ある巨大な自然石を城壁に取り込んだ独特の構造が特徴。山頂の三層天守も大岩に半分乗っかる形で建てられていたという(懸造り)。

午前中岩村城跡を觀て、電車・バスを乗り継いで、お昼にここ苗木城跡にやってきました。巨大な自然石を城壁に組込んだ構造に度肝を抜かれます。これが100名城の選定外(続100名城)なことが巻の城跡で、選定基準が良く理解不能なぐらい、圧分りません。



理解不能なぐらい、圧分りません。

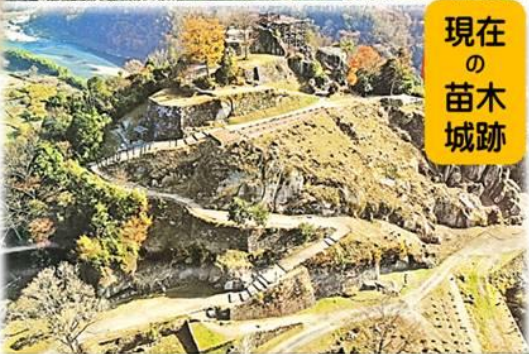


復元CG  
苗木城



FB - 050

現在の  
苗木城跡



## 6タイプの石垣



大矢倉

三ノ丸



苗木城シオラマ



大矢倉

G-Mapより

本丸

天守  
展望台

**A** タイプ

野面石乱層積み

積みの形が不規則で、他のタイプの石垣と比べて大きい積石を使用しています。積石の表面を平らにして、積み上げてあります。

**B** タイプ

打込石乱層積み

積みの形が不規則で、他のタイプの石垣と比べて大きい積石を使用しています。積石の表面を平らにして、積み上げてあります。

**C** タイプ

打込石整層積み

布目状に積まれており、積石の形がほぼ長方形になっています。積石の間に隙間があり、高さが2m以内で勾配が急なことが特徴です。

**D** タイプ

切込石整層積み

石の形を調整して積み上げて作られています。積石の面はあまり加工されておらず、他のタイプの石垣と比べて積石が小さいものを使用しています。

**E** タイプ

ノミ切り加工整合積み

ノミを使って積石をきれいに加工して、隙間がないようにピッタリ積み上げています。積石の各辺が直線的に加工されているのが特徴です。

**F** タイプ

谷積み技法を用いた石垣

平石の隙を立てて積み込んでおり、落積みとも言われています。この積み方は、昭和に至るまで道路工事などでも使われていました。

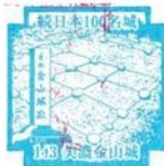
全景、現る。  
苗木城観光パンフ



戦国時代の面影  
そして今、







元は斎藤正義(斎藤道三の養子)により築城(烏峰城 [うほうじょう])。しかし斎藤正義は久々利城主の土岐氏に謀殺され落城。織田家の拡大で重臣 森可成が城主(兼山城)となり、以降 総石垣造りの近世山城へと大改修、名も金山城と改められた。江戸初期の廃城により資材は犬山城(後に紹介)に運ばれたというが痕跡は無し。森氏時代に築かれた総石垣の櫓形虎口や天守台を持つ巨大山城と、それらが破城により崩された様子が今も残る。

最寄りの駅は名鉄広見線の明智駅(無人駅)という名称なのでひょっとしたらと思ったのですが、全く関係ありませんでした。バスは1時間に1本ですが、間際で乗り遅れ歩きました。1時間余で登城口に到着!

管理棟のある蘭丸までは、写真のように小川のせせらぎと植え込みがきれいに手入れされており、大事に守っているのがよく分かります。たまたま管理人さんが居られあとの行程などお聞きしているうちに、私の疲労度合いと雨降りを判断されたのか、突然上の方まで車で送ってあげるとおっしゃられ、甘えることにしました。本当に感謝感謝です。



往古の兼山のようにす 金山湊跡



美濃金山城所在





# 144 大垣城

--- 続100名城 ---

2019.1.7



別名：麩城(びじょう)・巨鹿城(きょろくじょう)

大垣城は関ヶ原合戦直前まで西軍の拠点であり、石田三成らが合戦直前まで在城していた要衝の平城。

FB - 046

大垣駅に近く、地図(スマホG-Map)を見ながら探していると民家の間から突然現れます。大垣公園内の一角にあり、きれいに整備されていますが、お堀が無く民家に寄り添っているため何かつまらなさを感じます。



戦災焼失前の国宝大垣城



再建された天守前



再建天守(改修後)



西軍(大垣城内)と、島左近(杭瀬川で東軍を蹴散らしている)、そして家康率いる東軍(赤坂・岡山に陣取る)。



関ヶ原合戦 前日の「杭瀬川の戦い」テフォルメジオラマ。



東軍陣地の赤坂・岡山も周りに柵や堀が築かれている。



復元CG  
本丸・二ノ丸は島というよりまるで要塞(言うなれば軍艦島)。多数の堀と川に囲まれた大垣城の水城さがよく分かる。

